

D-6 「体感!!ペットボトルの3R と地球」温暖化」

～ペットボトル工作で遊ぼう～

講義担当:特定非営利活動法人かながわ環境カウンセラー協議会

講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校低学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学校総合学習の時間、小学校高学年社会科		
関連のあるSDGsのゴール	11、12、13、14、15	オンライン授業	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	9時～16時		
年間実施上限数	5		
講座実施方法 ※()は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(パソコン・プロジェクターが利用できる教室等) <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ(教室内で、ペットボトルを使った工作とそれを使った遊び、比重分離実験) <input type="checkbox"/> 自然体験()		
講座所要時間	90分(45分×2)		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクターと大形スクリーン、陳列用テーブル、マイク		

講座内容

1. 講座の目的

私たちはプラスチックを使ひ、使用後ごみとして捨てています。プラスチックごみは、地球温暖化や海の汚染の原因の一つです。横浜市の3R 夢プランに沿って、プラスチックごみを減らすための分別を講義とペットボトルを使った工作で理解し、日常の生活に活かしてもらう。

2. 内容

1) 講座の展開

プラスチックごみがあふれている現場や苦しんでいる海の生き物を写真で知る。ゴミを減らす3Rの方法の説明と分別の例としてペットボトルに使われている3種類のプラを実験で分ける。

飲料メーカー・コンビニがリサイクルプラや簡略化の努力をしていることを伝える。

ペットボトルを使って、2つの工作を体験する。(浮沈子とミニ空気砲)。最後に、工作物を使ってみんなで工夫して遊ぶ。

2) 講座のおすすめポイント: 座学に加え、クイズ、実験や工作体験を通して、気づきを得る。

3) 学びのポイント

①海に流れ込んだプラスチックが、生き物を苦しめたりする原因を知る。

②プラスチックを分離する実験を通して、水に浮くものと沈むもので分けられることを学ぶ

③プラスチックを燃やすと、なぜ地球温暖化につながるかを学ぶ

④使い終わったペットボトルをリユースして、工作物で楽しく遊べることを、体感する



問合せ先 (団体名:かながわ環境カウンセラー協議会 大竹 順之 TEL:09057815125

メールアドレス: otakem65@keb.biglobe.ne.jp)